

2016年4月18日

全国保問研 様  
福岡保問研 様  
子育てネットワークかごしま 様

吾孫子幹

## 熊本への現地訪問及び支援報告

お疲れさまです。

昨日「全国保問研」「福岡保問研」「子育てネットワークかごしま」によるお見舞いとして熊本に行ってきましたので報告します。

今回、支援物資を持って訪問することになったきっかけは、4/16夜に子育てネットワークかごしまの黒川代表から鹿児島現地のメーリングリストで「なにか鹿児島として支援ができないだろうか」と連絡をいただいたことが発端になります。その時ちょうど僕は、自分が代表を務めているNPOで何かしらの支援を考えていたところでしたので、それでは一緒にしましょうということになりました。支援内容や必要な物資については現地に直接聞いた方がいいと思い、フェイスブックにてさくらんぼ保育園の建川さんとやり取りをしていたら、それを見かけた福岡の古林さんから4/17朝に連絡をもらいました。内容は全国保問研と福岡保問研も支援を考えているので一緒にしませんかというお誘いの連絡でした。この一連のやり取りが、今回このような形で支援することになった経緯です。

NPOでは東日本大震災での支援経験があるので、今回の支援は何よりもスピードを優先しました。幸い全国保問研から10万、福岡保問研から3万、子育てネットワークかごしまから10万の計23万が支援金として確保できていたので、僕が直接建川さんに聞いた話と、全国保問研の西川代表が山並さんから聞いてもらっていた情報をもとにして物資を地元で購入しました。

熊本が被災し物流が途絶えがちになってしまったことで、僕の地元でも店によってはミルクの購入数制限などが始まっていましたが、うちの保育園の保護者でもあるNPOのメンバーが大型スーパーの店長さんに事情を説明したところ、ほとんどの物資を特別に箱単位で売っていただけました。（購入品・金額は別紙のとおりです）

園の保育者やNPOのメンバーの他にも協力者がいて、古林さんから朝連絡をもらってから、物資を仕分けして車に積み込むまで4時間強で準備することができました。

熊本までの高速道路は通行止めでしたので、水俣経由の国道を北上しました。保育園の隣にあるガソリンスタンドの店長さん情報で、「ガソリンは満タンにしておくこと」「現地での食料の調達是不可能に近いので自分たちの食料は十分に買い込んでいくこと」とアドバイスも頂けました。

国道は事前の情報通り、八代に入ってからはずっと渋滞で、普段高速で行けば2時間もかからないさくらんぼ保育園まで4時間あまりかかりました。道中は震源地より離れた南側ということもあったためか、全壊している家屋等は見かけませんでしたが、屋根や塀の破損、道路の亀裂等はあちこちで見られました。

さくらんぼ保育園に着いたら、建川さんが迎えてくれましたが、夕食前ということもあり建川さん自ら厨房に立たれている最中でした。僕が連絡した時は電気が通っていて水も大丈夫ということでしたが、着いた時には停電していて台所以外の水は出ないということでした。建物は新築されたばかりなので大丈夫でしたが、ガラスの破損や部屋の中は雑然としていて、地震の大きさを物語っていました。在園児・卒園児・地域の方々70名ほどが避難所としてさくらんぼに避難されていましたが、停電したこともあり、職員さん方も少なく、被災者の方も何世帯かがいらっしやるだけでした。夜には温かい食事を提供される予定なので、その時には被災された方々がまたいらっしやると聞きました。長居しても迷惑なので支援物資とお見舞金をお渡しして、やまなみこども園に移動しました。

やまなみこども園も園舎は大丈夫でしたが、道路側のブロック塀が崩れていたり、さくらんぼ同様、部屋の中は大変混乱しているようでした。やまなみこども園にも在卒園児や保護者、地域の方が100人ほど避難所として来ているとのことでした。電気も止まっていますが丁度発電機で電気を起こしていました。夕食時間だったため子どもたちは園庭で食事をしていました。献立は魚の煮つけやサラダ、ご飯に汁物ととても美味しそうな食事だったので、山並さんに「食材はどうしたのですか？」と聞いたら、ご主人が天草から持ってきているとのことでした。やまなみこども園には大勢人がいて、保育者さんたちもたくさんいました。被災したことを知らなければ園庭で親子キャンプをしているかのような錯覚に陥るほどの光景でした。

さくらんぼ同様、やまなみこども園にも支援物資を置いて、お見舞いをお渡しした後、帰路に着きました。帰りも予想通りの渋滞でしたが、日が変わる前には無事に鹿児島島の自宅に帰り着くことができました。

建川さん山並さんをはじめ職員さん方に本当に喜んで頂けて行って良かったと思います。もっと細かく必要なものを聞き取れて行ければ良かったのですが、今の時点で必要なものはお届けできたかと思います。迅速に支援を決定された各団体さまに本当にありがとうございましたとのことでした。

## 感想

率直な感想として、この両園は牽引車役の建川さんと山並さんがこんな時でも元気で前向きで動かれることや、普段から保護者や卒園児・地域の方々との距離が非常に近いことなどが原動力となって、このような非常時にも一致団結して困難を乗り越えようとされている姿が見れて安心もしましたし、保育者として感動しました。これもひとえに普段の保育の積み重ねの結果だし、もしかしたらこれが保育の原点なのかなとも思いました。

## 今後の支援について

### ・支援先

感想で少し書かせていただいた通り、さくらんぼ保育園とやまなみこども園では、こんなにも厳しい状況の中でもたくましく乗り越えようとされている姿が見ることができた一方で、保問研等とはつながりがない園で、どうしようもないほど困っている子どもや保護者・保育者達もたくさんいるんだろうな…とちょっと複雑な気持ちも正直しました。これからの状況は当然不透明ですが、支援先についてはこれからもずっと両園を中心として支えていくのか、可能な調査をもとに保問研とはつながりがないけど、緊急度・必要度が高いところにも支援をしていくのかは考えていかなければと思いました。

### ・支援内容

今回はとりあえずの生活に必要な物資を、現地の聞き取りを元に届けられたことは本当に良かったと思います。ただ今後物流が復活していくにしたがって、現地のニーズはモノからお金へと大きく変わってくることも予想されるので、熊本の各地域の園とは密な情報交換をしながら支援内容を決めていくことが求められていくと思います。

## 支援物資リストと収支について

### 支援物資

#### 食料品・飲料として

粉ミルク（ほほえみ・すこやか・ぐんぐん・はいはい）／レトルト離乳食／インスタントラーメン／野菜（大根・にんじん・きのこ・葉物の野菜いろいろ・たまねぎ・キャベツ・外たくさん）／水 274ℓ

#### 保健衛生物として

おむつ（新生児・S・M・L）／おしりふき／ウェットティッシュ／箱ティッシュ  
トイレットペーパー／生理用ナプキン／歯ブラシ／新品タオル

#### その他として

キッチンペーパー／紙コップ／サランラップ（大・小）／ウォータータンク

支援金		支出		
全国保問研	100,000	ニシムタ①	162,151	
福岡保問研	30,000	ニシムタ②	3,458	
子育てネットワークかごしま	100,000	なりざわ	4,613	
NPOの支援金より繰入	8,622	財宝（水）	8,400	
		お見舞い （現金）	60,000	さくらんぼ やまなみ 各 30,000 円
	238,622		238,622	

#### 収支の整理

表のとおり支援金は 230,000 円ありました。

必要な物資の購入合計額は 178,622 円（支援金残 51,378 円）でした。現金のお見舞いも必要だろうと思い、NPO からの支援金を繰り入れ（8,622 円）で 60,000 円にして、さくらんぼ保育園とやまなみこども園に 30,000 円ずつお見舞いをしてきました。

#### 各団体で報告されるのであれば…

全国保問研 物資 80,000 円 お見舞金 20,000 円

福岡保問研 物資 10,000 円 お見舞金 20,000 円

ネットワーク 物資 80,000 円 お見舞金 20,000 円

とされればいいとおもうのですが、お任せします。

別添で領収書の写しとお見舞い袋の写真を添付します。

以上です。